



## 「2学期教育活動アンケート」の数値結果についてお知らせします

12月に実施した「教育活動アンケート」への御協力ありがとうございました。調査結果をまとめたので御報告します。

### 【数値結果】

	質問項目	対象	R3/12	R4/7	R4/12	順位
1	学校が楽しい	児童	67	70	65	
		保護者	61	58	57	③
2	みんなで何かするのは楽しい	児童	81	81	78	③
		保護者	68	68	65	①
3	授業に主体的に取り組んでいる	児童	50	60	53	②
		保護者	30	34	35	
4	授業がよく分かる	児童	58	58	56	④
		保護者	27	22	20	①
5	友達と関わりながら授業に参加している	児童	68	72	74	
		保護者	40	40	39	
6	先生や友達の話をしっかり聞いている	児童	73	74	76	
		保護者	36	35	32	
7	先生や友達に自分の考えを伝えている	児童		58	60	
		保護者		23	24	②
8	自分にはよいところがあります	児童	59	61	61	
		保護者	42	29	31	⑤
9	友達のよいところを知っている	児童	81	78	84	①
		保護者	58	45	46	
10	思いやりの気持ちをもって生活している	児童	69	65	68	
		保護者	49	46	47	
11	学校のきまりを守って生活している	児童	65	72	66	
		保護者	57	53	54	④
12	体を動かすことが楽しい	児童	80	78	77	④
		保護者	64	65	61	②
13	食べ物に興味を持って給食を食べている	児童		58	58	⑤
		保護者		42	44	
14	安全に登下校できるように気を付けている	児童	81	81	79	②
		保護者	55	49	51	⑤
15	学校や登下校中に地震が起きたとき、どのように行動すればよいか分かっている	児童	81	77	74	
		保護者	33	32	31	④
16	自分のよいところやがんばっていることを、先生はほめたり認めたりしてくれる	児童	65	63	63	
		保護者	49	45	46	
17	家庭学習に自分から取り組んでいる	児童	51	55	54	③
		保護者	28	32	29	③
18	テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めている	児童	53	61	61	
		保護者	38	40	38	
19	家の人と将来のことについて話すことがある	児童	46	55	52	①
		保護者	43	42	41	
20	学校に信頼できる先生がいる	児童	78	77	77	⑤
		保護者	51	42	44	

<順位欄>白丸数字は数値が高かった質問項目、黒丸数字は数値が低かった質問項目です。

※裏面に続きます

## 【分析考察】

### ①人間関係・相互理解

【成果】本校では「夢いだき ともに高め合う子」の育成を目指し、「協働」「学び合い・認め合い・励まし合う」場を大切にしています。そうした中で、「友達のよさ」を見つけ、合言葉「(と)友達を(も)もっともっと(え)笑顔にしよう」の実現を図っています。

そうした点から、「友達のよいところを知っている」の数値が最も高くなったことは、1つの成果として捉えたいと思います。

【課題】それに比べて、「自分にはよいところがあります」の数値はあまり高くないことを課題として捉えています。

【取組①】「北小スタディ」(朝の15分学習)や学級活動の時間に、人間関係づくりのエクササイズに取り組み、友達のよさや新たな一面を見つける機会を増やす計画を立てています。よさを互いに伝え合うことで、自分のよさに気付いたり、有用感を高めたりすることにもつなげていきます。

【取組②】学習の終わりに「まとめ」や「振り返り」を書く時に、友達の考えや意見を取り入れたり、聞いて「なるほど」と思ったことを感想にまとめたりすることを重点にしていきます。そして、伝え合うことで自己有用感が高まることも目指します。



### ②学力定着・内容理解

【成果】本校の重点である「協働」や、中学校区(学園)の重点である「聞く」の観点から見ると、「友達と関わりながら授業に参加している」や「先生や友達の話をしっかり聞く」の数値は概ね良好でした。

これまで、お互いの意見が同時双方向的に見られるタブレット機能を活用した意見交流や、「なぜだろう」「考えてみたい」と思えるような学習課題づくりを重点にして、授業づくりを進めてきた1つの成果と捉えたいと思います。

【課題】一方で、「授業がよく分かる」や「家庭学習に自分から取り組んでいる」の数値が低いことを課題として捉えています。

【取組①】授業のめあてや問題に対する「まとめ」(大事なポイント)を、できるだけ自分の言葉で書いたり、分かったことやまだ疑問に思っていることなどを「振り返り」として書いたりする時間を大事にしていきたいと思えます。

理解状況を自分自身で振り返ることにより、「できた」「わかった」という実感や、内容理解につながります。

【取組②】来年度は「北小スタディ」(朝の15分学習)の時間が大幅に増えます。

<R4年度 78回⇒R5年度 118回>

これまで国語に限定して、漢字などの基礎学力向上に取り組んできました。来年度は、算数を新たに増やし、計算などの基礎学力向上も目指していきます。

※1・2年生は、市全体で英語教材に取り組んでいます。

【取組③】特に高学年では中学進学を見据えて、あらかじめテストの期日を知らせ、テストに向けた自主学習に取り組むことを奨励していきます。学力の定着・向上を目指します。



### ③協働・体力向上

【成果】「みんなで何かをすることは楽しい」「体を動かすことが楽しい」の数値が高くなっています。

コロナ禍で様々な制限下に置かれた3年間でしたが、子供たちはみんなで取り組む・創り上げる機会を楽しみにしています。それを実現する学校でありたいと思います。

【取組】昼休みは、奇数学級と偶数学級に分けて1日おきに遊ぶようにしていました。

感染症への対応が変わる来年度からは、ボール運動と鬼ごっこができるエリアを分けたり、週によって遊びの内容を統一したりするなど、安全面に配慮しながら毎日遊べるようにしていきます。



【保護者アンケートの結果】運動会について

- 実施種目の改善 33件
- 参観人数の改善 29件、継続 1件
- 参観方法の改善 15件
- 開催方法の改善 11件、継続 7件

【課題】御意見をいただきありがとうございます。「徒競走やリレーがなくて寂しい」「参観人数を2名にしてほしい」「全校開催できないか」などの意見が多く見られました。

【取組案】コロナ対応がひと段落すると考えられ、御意見をもとにしながら改善する方向で考えています。

- ・全校・1日開催
- ・保護者参観2名
- ・徒競走かリレーを実施

「親子や地域の皆さんで子供たちの成長を共有したい」といったコメントをいただきました。子供たちを真ん中に据えながら、よりよい方向に向かっていきたいと思えます。



※多くの項目で、市全体の数値より高くなっていました。前向きに学校生活を送ることができている子が多いです。